



第24回全国障害者スポーツ大会 「わたSHIGA輝く 障スポ2025」

概要

滋賀県内(彦根市、愛荘町、東近江市、近江八幡市、湖南市、栗原市、野洲市、守山市、甲賀市、草津市、大津市、高島市、長浜市)
令和7年10月25日(土)～27日(月) 本県選手団／107名

成績一覧

団体競技

◆ソフトボール競技(知的・男女混合)

1回戦 岩手県 0-1 広島県

◆バレーボール競技(知的・女子)

1回戦 岩手県 0-2 鹿児島県

交流戦 岩手県 0-2 愛媛県

◆フットソフトボール競技(知的・男女混合)

1回戦 岩手県 10-11 静岡県

交流戦 岩手県 10-21 和歌山県

個人競技

選手団別記録一覧参照

※岩手県選手団…金メダル：10個

銀メダル7個 銅メダル7個



個人競技 選手団別記録一覧

選手氏名	障害区分	年齢区分	競技名	種目名	順位
下館 重仁	27	少年	陸上競技	100m	4
下館 重仁	27	少年	陸上競技	走幅跳	1
下館 重仁	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	6
佐々木 龍斗	27	少年	陸上競技	200m	7
佐々木 龍斗	27	少年	陸上競技	100m	6
佐々木 龍斗	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	6
白石 朋毅	16	1部	陸上競技	50m	7
白石 朋毅	16	1部	陸上競技	ビーソフットボール	3
米沢 悠花	27	少年	陸上競技	100m	6
米沢 悠花	27	少年	陸上競技	200m	7
米沢 悠花	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	6
高橋 結	26	1部	陸上競技	800m	1
高橋 結	26	1部	陸上競技	1500m	1
野村 宏昭	24	1部	陸上競技	砲丸投	1
野村 宏昭	24	1部	陸上競技	ソフトボール投	記録なし
菅原 太聖	27	少年	陸上競技	100m	6
菅原 太聖	27	少年	陸上競技	200m	7
福島 零音	27	少年	陸上競技	100m	7
福島 零音	27	少年	陸上競技	200m	7
福島 零音	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	6
及川 一枝	25	2部	陸上競技	50m	2
及川 一枝	25	2部	陸上競技	立幅跳	1
佐々木 愛加	22	1部	陸上競技	100m	2
佐々木 愛加	22	1部	陸上競技	ジャベリックスロー	2
佐々木 基樹	24	2部	水泳	25m自由形	1
佐々木 基樹	24	2部	水泳	25mバタフライ	1
水本 結空	25	1部	水泳	25m自由形	1
小滝 陽斗	26	少年	水泳	50mバタフライ	5
小滝 陽斗	26	少年	水泳	25mバタフライ	4
四日市 喜丞	26	少年	水泳	50m自由形	6
四日市 喜丞	26	少年	水泳	50m平泳ぎ	4
前端 諭	04	—	アーチェリー	リカーブ30mダブルラウンド	棄権
佐々木 愛武	13	1部	卓球	一般卓球	2
宇部 千寿子	15	2部	卓球	STT	3
菅原 直哉	18	青年	卓球	一般卓球	3
木村 祐海	18	少年	卓球	一般卓球	2
大下 拓将	19	少年	卓球	一般卓球	3
畠山 誠二	19	壮年	卓球	一般卓球	3
及川 晃	02	—	フライングディスク	アキュラシーディスリート・セブン	3
及川 晃	02	—	フライングディスク	ディスタンス メンズ・スタンディング	1
山口 拳申	02	—	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	2
山口 拳申	02	—	フライングディスク	ディスタンス メンズ・スタンディング	7
佐藤 瞬太	02	—	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	5
佐藤 瞬太	02	—	フライングディスク	ディスタンス メンズ・スタンディング	5
坂本 実紗樹	02	—	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	7
坂本 実紗樹	02	—	フライングディスク	ディスタンス レディース・スタンディング	3
小野寺 裕輝	01	青年	ボウリング	ボウリング	2
村松 光多	09	1部	ボッチャ	ボッチャ	1
遠藤 豊	10	1部	ボッチャ	ボッチャ	1

Athlete Voice 入賞者の声

質問内容

- Q1. わたSHIGA輝く障スポでの結果を振り返り、今のお気持ちを
お聞かせください。
- Q2. 今大会に向けて、日々の練習や生活で特に重要視してきたこ
とを教えてください。(技術、体力、メンタル、ゲン担ぎ、ルー
ティーン、チームでの決め事など何でも可)
- Q3. 今大会の競技(試合)で一番良かった点、逆に悔しかった点を
教えてください。また、滋賀の地で印象に残ったことを教えて
ください。
- Q4. 憧れや目標にしている選手や人物、チームがあれば、理由も
合わせて教えてください。
- Q5. 今後のチームや自身の目標を教えてください。
- Q6. 未来ある岩手県の子どもたちへ伝えたいことがあればお書
きください。
- Q7. 何でもご自由にお書きください

たかはし ゆい 高橋 結選手 陸上競技 800m 1500m

A1. 800m、1500m共に優勝することができました。特に1500mでは、目標としていた大会新記録を更新することができて大きな達成感を感じることができました。

A2. 普段は放課後の部活動で練習していますが、休みの日は部活動が無いので、自主練習に取り組んでいます。自分でメニューを考えたり、先生にアドバイスをもらったりしながら基礎体力の向上やスピード持久力の強化を意識して練習しました。

A3. 良かった点は、設定したタイムを守り、レースを展開することができました。一方で、終始先頭で走るレースだったためペースコントロールへの課題が見つかりました。今後の練習では課題を意識して練習に取り組みたいです。滋賀では、彦根城が見える競技場の雰囲気が良く気持ちよく走ることができました。

A4. 憧れの選手は、東京2025デフリンピック陸上競技日本代表の中村美月選手です。中村選手に少しでも近づきたいと思いますし、その記録を超えられるように頑張りたいです。

A5. 来年は高校生活最後の年となります。県高校総体では決勝進出を目指したいですし、青森での全障スポに出場できたら、800m、1500m両方で大会新記録を更新したいです。さらに、4年後のデフリンピックでは日本代表として出場し、メダル獲得を目指したいです。

A6. 私は聴覚に障がいがありますが、障がいのあるなしは競技には関係ありません。目標をもち、努力を続ければ誰もが輝くことができると思います。

A7. 障がいのあるなしに関わらず、多様な人たちがスポーツを楽しんだり、競技に打ち込める環境がこれからも整ってほしいと思います。



やまぐちけんしん 山口拳申選手 フライングディスク アキュラシー ディスリート・ファイブ ディスタンス メンズ・スタンディング



A1. ・初めて挑戦したけど、銀メダルが取れてやってよかったと思います。

・自分の体の動かし方で、得意なことや不得意なところがあることがわかった。

A2. ・チームで決めた、勝つためにルール上、大事なところを何回も練習した。

A3. ・良かったこと：競技の中で一番大事なスローイングができて、メダルが取れたこと。

・悔しかったこと：ディスタンスのレベルが高いことにびっくりした。

・滋賀の印象：琵琶湖を見れたことと、近江牛を食べたこと。

A4. ・特になし

A5. ・フライングディスクを続けて頑張りたい。

A6. ・フライングディスクは、運動が苦手な人でもできるスポーツだと思うので、みんなでやりましょう。

えんどう ゆたか 遠藤 豊選手 ボッチャ

A1. ボッチャ競技で岩手県として初めて金メダルを獲得できました。前回大会にも出場させていただきましたが、惜しくも銀メダルという悔しい結果となっただけに、今大会の結果は大変嬉しいですね。

A2. ボッチャ競技は座位の選手と立位の選手がペアを組んで戦うため、ペア戦は個人戦と違い、2人の連携が欠かせません。日々の練習はペアでの練習をしました。練習で大切にできたことは、できないことを責めたりしないことです。練習を重ねていけば、できないことができるようになります。しかし、練習しても障害の状態上、できないことがあります。そのような時、できないことを責めず、お互いにできること、できないことを確認し、どうやったら勝利に結びつくのか考えながら練習に取り組みました。

A3. 試合で一番良かったことは、自分が得意な距離では自分が置きたいところにボールを投げることができたことです。逆に悔しい点は、自分の得意な距離より少し離れてしまうと、狙い通りに投球できなかったことです。印象に残ったことは、ボッチャ競技の表彰式がスローイングボックス上で行われましたが、ボックス中央で金メダルを渡された際に、チームスタッフや会場の方々から祝福を受け、優勝した実感が湧いたことです。

A4. 目標にしている選手は、日本代表選手でもある江崎駿選手で

す。障がいの特性上、パワーがない選手ですが、精度の高い投球技術で世界と戦っています。世界で戦う江崎選手の姿を見て、パワーがなくとも投球精度の高さがあれば世界で戦えるのだと希望が持てたことが理由です。

A5. 来年1月にボッチャ選手権大会に出場します。目標はシード権を獲得できる4位以上です。厳しい戦いが待っていますが、挑戦者として最後まで食らいついて勝利を目指したいと思います。

A6. 障がいを持つとできないことに目が向いてしまいます。それは仕方がないことです。しかし、さまざまな情報技術の手を借りることで、寝たきりの人が絵を描いたり、作曲したりといったことができるようになりました。障がいがあるから諦めるのではなく、どうやったらできるのか考えるようにしてほしいと思います。

A7. 障がいがある方がスポーツに取り組むといっても、自力で支援者や道具を用意できる方でないといけないのが現状です。岩手県の場合だと移動の支援も含めた支援が必要になります。支援体制が整わないと障がいがある方が気軽にスポーツに取り組むことができません。障がいがある方がやりたい時にスポーツに取り組める環境がもっと整ってほしいと切に願っています。

